**図　画　工　作　科　学　習　指　導　案**

日　時　　年　月　　日（　）

　　　　　：　～　：

対　象　第　学年　組

授業者

会　場

**１ 題材名** 　　　　　　　　「画用紙のだいぼうけん！」

A表現(1)イ(2)イ,B鑑賞(1)ア,〔共通事項〕(1)ア,イ

**２ 題材の目標**

**（1）「知識及び技能」に関する目標**

・自分の感覚や行為を通して，作品の形や色などの感じが分かる。

・材料や用具を適切に扱うとともに， 前学年までの材料や用具についての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表し方を工夫して表す。

1. **「思考力・判断力・表現力」に関する目標**

　　・描いた模様からイメージして表したいことを見付けることや， 形や色を生かしながら，どのように表すかについて考える。

・つくった作品を鑑賞する活動を通して，造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げる。

**（３）「学びに向かう力、人間性等」に関する目標**

・技法をもちいて模様を描き、そこから物語をつくることやお互いの作品を鑑賞する活動に進んで取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

**３ 評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知知識及び技能 | 思思考力・判断力・表現力 | 主学びに向かう人間性 |
| 1. 自分の感覚や行為を通して，作品の形や色などの感じが分かっている。 2. 材料や用具を適切に扱うとともに， 前学年までの材料や用具についての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表し方を工夫して表している。 | 1. 描いた模様からイメージして表したいことを見付けることや， 形や色を生かしながら，どのように表すかについて考えている。 2. つくった作品を鑑賞する活動を通して，造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | 技法をもちいて模様を描き、そこから物語をつくることややお互いの作品を鑑賞する活動に進んで取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造している。 |

**４ 題材について**

1. **題材観**

例）本題材は、小学校学習指導要領(平成29年告示)

図画工作　A表現(1)イ(2)イ,B鑑賞(1)ア,〔共通事項〕(1)ア,イ

A表現（１）イ

絵や立体，工作に表す活動を通して，感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいこと

を見付けることや，表したいことや用途などを考え， 形や色，材料などを生かしながら，どのよう

に表すかについて考えること。

A表現（２）イ

　 絵や立体，工作に表す活動を通して，材料や用具を適切に扱うとともに， 前学年までの材料や用

具についての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して

表すこと。

B鑑賞（１）ア

ア　身近にある作品などを鑑賞する活動を通して，自分たちの作品や身近な美術作品，製作の過程などの造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げること。

〔共通事項〕(1)ア,イ

　　　ア　自分の感覚や行為を通して，形や色などの感じが分かること。

イ　形や色などの感じを基に，自分のイメージをもつこと。

を受けて設定した。

　本題材は、モダンテクニックを学び、そこからできたいろいろな模様とイメージを結び付ける

「［共通事項］（１）イ　形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと」に重点を置いた内容

である。本題材で重点的に指導することにより、今後の学びがより広がったり深まったりすると考え

4学年のこの時期に設定した。

**(2)児童観　（例）**

　　　この時期の児童はイメージと形と色の感じとの関係が低学年の時よりも、より具体的になる。

　　低学年の時に「たくさん形や色があるな」ということを、題材を通して学んだり、さまざまな材料体験をしたりする中で気付いている。そして中学年になり、形や色をイメージと結びつける題材を意図的に行ってきた。前題材「ドロドロカッチン」では、芯材に液体粘土がしみ込んだ布を被せることで出来た「形」を様々な方向から見ることで、「何に見えるか」の「見立て」を丁寧に行った。形の「表」と「裏」を見たり、目線を変えたりするなどして「山」「滑り台」「アスレチック」「ロールケーキ」「波」「魚」「恐竜」など一人一人が形からイメージをもつことが出来た。本題材ではモダンテクニックでできた何枚かの画用紙の「形」や「色」から一人一人がイメージをもつだけでなく、何枚かの画用紙が関連する「話」を考えることにより、より豊かにイメージを広げたり、新たな表現に繋げたりしていく。

　　　4学年で「見立て」の活動を十分行っておくことで、「形や色からイメージすること」が自然と行えるようになり、高学年になった時、形や色を理解したり、理解したうえで活用したりすることができるようになる。

**（２）教材観**

題材の特性として主に３つの特徴があると考える。

* 1. モダンテクニック

本題材ではモダンテクニックを用いて何枚かの画用紙をつくる。「ビー玉」「スタンピング」「デカルコマニー」「スパッタリング」などである。ここでは様々な用具を使用して表すことの楽しさや形や模様が次々とできる喜びを十分に味わわせる。今まで意図的におこなってきた筆やパスをつかった表現とはひと味違った、偶然できる形や色のよさや面白さを体感させる。

ビー玉

スパッタリング

デカルコマニー

スタンピング

* 1. お話つくり

本時ではモダンテクニックで作成した「模様画用紙」の形や色からイメージして一つの作品に構成していく。展開①では班ごとに授業者が考えた「キーワード」を基にイメージゲームを行う。ここで「形や色からイメージする」ことを自分たちの作品で行うことで、展開②の「お話をつくる」活動へスムーズに入れるようにする。一枚一枚の「模様画用紙」の形や色からイメージを広げて何枚かの画用紙の順番を考えたり、模様の上から描き加えたり、「模様画用紙」に切り込みを入れて「模様画用紙」同士の繋がりをつくったりと、それぞれの「お話」のイメージに合わせて用具や材料をつかって工夫してつくる。

* 1. 鑑賞タイムと作品読み聞かせ

第4次では作品の鑑賞時間を設ける。そこでは列ごとに「読み聞かせ」する人（自分のつくった作品を発表する人）と鑑賞する人に分け、自分がつくった作品の「意図」を友人に伝えられるようにする。友人の「読み聞かせ」を聞くことにより、作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げられるようにする。

**５** 題材の指導計画と評価計画 （５時間扱い）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 主な学習活動 | 評価の観点  （評価方法） |
| 一次  90  分知②活動の様子・作品  思①活動の様子・作品 | ・題材について知る。  ・モダンテクニック「ビー玉」「デカコマニー」「スパッタリング」  「スタンピング」を学び、何枚かの「模様画用紙」をつくる。 | 知①活動の様子  思①活動の様子・作品 |
| 二次  90  分  本時 | ・「模様画用紙」を並べ、班の友人と一緒にイメージゲームをする。  ・「模様画用紙」の順番を考えて物語を考える。  ・考えた物語に合わせて、描き加えたり「模様画用紙」に切り込みを入れた  りして工夫してつくる。 | 知②活動の様子・作品  思①活動の様子・作品 |
| 三次  45  分  ぐ | ・自分のつくった作品や、友人のつくった作品の造形的なよさや面白さをみつけ、鑑賞カードに書いたり、発表して交流したりする。 | 思②鑑賞カード・発言 |

**６**学習の準備

児童： つくった「模様画用紙」　はさみ　　のり

授業者： カードリング人数分

**７**板書計画及び場の設定

○板書計画

画用紙の大ぼうけん

ハサミ

のり

みるみる

タイム

準備

片づけ

予告

　　　　　　　　　　　　　　　　　　学習活動の流れ

めあて

「もよう画用紙」からイメージして物語を考え、画用紙の順番を考えたり登場する人やものを描き加えたり、切り込みを入れたりして工夫してつくろう。

1. イメージゲーム
2. 工夫してつくる

　14：25まで

モダンテクニックでつくった形や色からイメージを広げよう。

**８**本　時 （全８時間中の第時間目）

1. 本時の目標

つくった何枚かの「模様画用紙」の形や色からイメージを広げ物語を考え、「模様画用紙」の順番を考えたり、ペンやパスなどの描画材をつかって描き加えたり、ハサミをつかって切り込みを入れたりしながら工夫して表そう。

(2) 展開（９０分授業）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ○学習活動　　・予想される児童の反応 | ◎指導上の留意点・配慮事項  ☆評価　知　思　主 |
| 展開①  ３０分  展開②  ４５分 | 〇前時のモダンテクニックでつくった「模様画用紙」を机に並べる。  　・いろいろな模様画用紙になったね  　・この画用紙が好きだな。  「もよう画用紙」からイメージして物語を考え、画用紙の順番を考えたり登場する人やものを描き加えたり、切り込みを入れたりして工夫してつくろう。  〇授業者が提示したワードからイメージゲームをする  　「暑い」の画用紙  　「夏」の画用紙  　「もうすぐ夏休み」の画用紙  　・色が明るいから夏のイメージだな  　・怒った時ってイライラしているからビー玉のぐるぐるの模様がぴったり。  〇班の友人と話し合いながらカードからお話を考える。  　・一緒に考えると楽しいお話になる  　・えー！！そんなイメージなの！？驚いた。  〇「もよう画用紙」の順番を決めて、物語を考え、描き加えたり、切り込みを入れたりしてつくる。  　・はじめに大きな口をあけた怪物（デカルコマニー）がでてくるようにしよう。  　・全部並べてみたら、いろいろな天気に見えてきた。天気がかわっていくお話にしようかな。  　・穴を開けて、一枚目と二枚目がつながっているようにしたいな。  　・森や海に見えてきた。主人公は動物にしていろいろな場所を旅するお話にしよう。カラーペンで描き加えてみよう。 | ◎展開②の物語つくりへスムーズに移行できるように、「模様画用紙」の形や色からイメージを広げる。  ◎友人の考えを聞いて、造形的な見方を広げられるようにする。  ・机間巡視をしながら、児童がどんなイメージをもっているのかを確認する。  ・イメージが浮かばない児童には、一緒に見ながら考える。  ◎いくつかの班に発表させることで、形や色を手掛かりにして自由にイメージができることを全体で共有する。  ◎まず始めに授業者が児童とやりとりをしながらつくることで製作への見通しをもたせる。  ・机間巡視をしながら、児童がどんなイメージをもっているのかを確認する。  ・イメージが浮かばない児童には、一緒に見ながら考える。  思①描いた模様からイメージして表したいことを見付けることや， 形や色を生かしながら，どのように表すかについて考えている。活動の様子・作品  知②材料や用具を適切に扱うとともに， 前学年までの材料や用具についての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表し方を工夫して表している。  　　　　　　　　　活動の様子・作品 |
| まとめ  ５分 | 〇片づけ  〇本時の振り返りと次時の予告 | ◎本時の振り返りを全体で共有することで本時の学びを実感させる。 |

**【参考作品】**